

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-65	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 404	小学道徳 4 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしています。

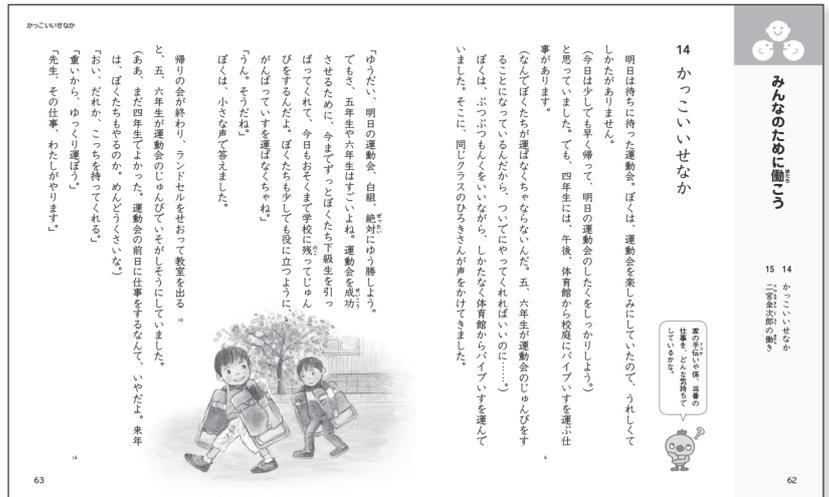
本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにします。



▲4年 28 わかってくれてありがとう (pp.126-127)

考え、議論する姿勢を身に付ける教科書

人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値観が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を探し続ける資質・能力を身に付けることができるようにしています。このような学習を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができますようにしています。



▲4年 14 かつこいいせなか (pp.62-63)

現代的な課題と向き合う教科書

児童をとりまくさまざまな社会的・教育的課題を多く取り上げています。いじめ問題や情報モラルに関する学習を通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことができます。また、かけがえない生命についての学習を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを、そしてグローバル化が進む社会についての学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。



▲4年 23 受けつがれてきた命 (pp.104-105)

問題解決的な学習を重視した教科書

自らの人生や社会において答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる解答を得るための資質・能力を養うことができます。このような学習を通して、真理を求める態度を養うこと、そして主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。



▲4年 4 ほっとけないよ (pp.20-21)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康的な身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
四年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	四年生の道徳の学習に向けての心がまえをもつことで、これからの学習で豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
相手を思いやって 1 つながるやさしさ 2 心と心のあくしゅ	<ul style="list-style-type: none"> 登校時の低学年の児童とのやりとりを題材にして、思いやりの気持ちを相手に向けることのよさを学び、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉 おばあさんへの親切な行動を通して、相手のことを考えることの大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉 	pp.6-8 pp.9-13
自分らしさをのばして 3 ゆめは世界一のプロ野球マスコット (島野修)	自身のよさを生かして活躍した野球選手の人生を通して、自分のよさをみがくことのすばらしさを学び、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことができました。〈第2号〉	pp.14-19
正しいことは自信をもって 4 ほっとけないよ	友達のよくない行動を注意した児童を題材にして、正しい行動をすることのよさを学び、自主及び自律の精神を養うことができました。〈第2号〉	pp.20-23
美しいものにふれて 5 十才のプレゼント	親から子への誕生日プレゼントを題材として、人の心や自然の美しさについて考え、豊かな情操と道徳心を培うことができました。〈第1号〉	pp.24-27
社会のきまりを守って 6 雨のバスでいりゅう所で	バス停留所でマナーを守らなかった児童とお母さんとのやりとりを通して、周りの人のことを考えて気持ちよく生活することの大切さについて考え、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉	pp.28-31
楽しい学級や学校をつくる 7 学校のじまんを大切に	きれいな学校づくりに主体的に関わる児童を通して、気持ちよく集団生活を送るために自分にできることを考えることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができました。〈第3号〉	pp.32-35
分けへだてなく 〇いじめについて考えよう 8 プロレスごっこ	<ul style="list-style-type: none"> いじめをなくすためにどうすればよいかを考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉 嫌がる児童へのプロレスごっこを題材にし、いじめをなくす方法について考え、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉 	p.36 pp.37-41
自分でできることを考えて 9 目覚まし時計 10 守りたい自分のじょうほう	<ul style="list-style-type: none"> 目覚まし時計を題材にして、自分で生活をよくしていくことについて考え、自主及び自律の精神を養うことができました。〈第2号〉 よく考えずにインターネットのサイトに個人情報を入力してしまった児童を題材にして、自主及び自律の精神を養うことができました。〈第2号〉 	pp.42-46 pp.47-49

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
真心をもって ○自分のあいさつについて考えよう 11 あいさつでつながる (スキル) 12 かわいくない	<ul style="list-style-type: none"> 自分のあいさつを振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛を重んずることができるようにしました。(第1号, 3号) 自分自身の挨拶を見直し、心をこめた挨拶をすることのよさを学ぶことで、豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛を重んずることができるようにしました。(第1号, 3号) メールをする際の友達との言葉のやりとりを題材にして、礼儀の大切さを考え、豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛を重んずることができるようにしました。(第1号, 3号) 	p.50 pp.51-53 pp.54-57
ありがとうの気持ちをもって 13 学校のれきし	学校の創立に携わった高齢者との交流を題材にして、生活を築いてくれた人々へ感謝することの大切さを考え、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	pp.58-61
みんなのために働こう 14 カッコいいせなか 15 二宮金次郎の働き (二宮金次郎)	<ul style="list-style-type: none"> 運動会での仕事を題材にして、主体的に働くことのよさを考えることで、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号) 人々のために一生けん命働き、その暮らしを豊かにした二宮金次郎の話を題材にして、働くことのすばらしさについて学び、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号) 	pp.62-66 pp.67-69
正直に明るい心で 16 だまっていればわからない (スキル)	自分がしたことを正直にあやまりに行く児童を題材とし、モラルスキルトレーニングを用いて学ぶことで、誠実に過ごすことのよさについて考え、正義と責任を重んずることができるようにしました。(第3号)	pp.70-75
友達と助け合って 17 仲間だから 18 絵はがきと切手	<ul style="list-style-type: none"> 学校でいじめられてつらい思いをしている友達の支えになる児童を通して、友達の気持ちを考えて行動することの大切さについて考え、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。(第3号) 友達からの郵便の料金不足を題材にして、友達のために自分がやるべきことについて考え、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。(第3号) 	pp.76-79 pp.80-83
家族で協力し合って 19 ブラッドレーのせいきゅう書 20 お父さんのラーメンがいちばん	<ul style="list-style-type: none"> 親子の請求書のやりとりを通して、家族を敬愛し、自分が家族の役に立つことの大切さを考えることで、豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。(第1号, 3号) 家族で営むラーメン屋さんでの話を題材にして、家族を敬愛し、家族と支え合って生活することのよさを学ぶことで、豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。(第1号, 3号) 	pp.84-87 pp.88-91
ころごしをもって 21 ゆめに向かって泳ぐ (寺川綾) 22 一步一步の積み重ね (伊能忠敬)	<ul style="list-style-type: none"> 夢をあきらめず、逆境を乗り越え活躍した寺川綾さんの生き方を通して、自分の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養えるようにしました。(第2号) 目標に向かって学問に励み、壮大な仕事を成し遂げた伊能忠敬の人生を題材にして、自分の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養えるようにしました。(第2号) 	pp.92-97 pp.98-103
自然を大切に 23 受けつがれてきた命 24 タイガとココア	<ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産にも登録されている屋久島を題材にして、三代にわたって命をつないできた杉について話をすることで、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるようにしました。(第4号) 多くの人々に愛されて成長したタイガとココアの話の題材にして、動物を大切にすることについて考えを深め、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるようにしました。(第4号) 	pp.104-109 pp.110-113
世界の人々や文化に関心をもつ 25 世界の子どものために	外国における給食の事情を知って行動をした外国の子どもの話にふれて世界に関心をもった児童を通して、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	pp.114-117
国やふるさとを愛する 26 日本人が世界に広めたすごいもの 27 やっぺし	<ul style="list-style-type: none"> 日本で発明されて世界に広がっているものを題材にして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養えるようにしました。(第5号) 東日本大震災で被災した地域の人々の復興に向けた思いにふれた先生の話の題材にして、自分の暮らす地域に対する思いを深めることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養えるようにしました。(第5号) 	pp.118-120 pp.121-125
相手とわかり合って 28 わかってくれてありがとう	学級での話し合いにおける児童のやりとりを通して、自分の意見を伝えるとともに相手の意見を尊重することの大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。(第3号)	pp.126-129

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
命を大切に ○命の大切さについて考えよう 29 おばあちゃんとの思い出 30 命	<ul style="list-style-type: none"> 命はなぜ大切なのか考えることで、豊かな情操と道徳心を培い、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第1号、4号〉 亡くなったおばあちゃんと児童の話を通して、命に対する考えを深め、豊かな情操と道徳心を培い、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第1号、4号〉 病気の中でせいいっぱい生きた宮越由貴奈さんの詩と生き方を通して、豊かな情操と道徳心を培い、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第1号、4号〉 	p.130 pp.131-133 pp.134-137
相手を思いやって 31 その日の朝に	地震に襲われ、小学校の校庭に避難している人たちのために、食べ物を運んだ善意の人について考えさせることをとおして、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。〈第3号〉	pp.138-141
こころざしをもって 32 ゆうびんの父（前島密）	日本における郵便事業の基礎を築いた前島密の生き方にふれることで、自主及び自律の精神を養うとともに、社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。〈第2号、3号〉	pp.142-145
こころざしをもって 33 日本人の手でオルガンを（山葉寅楠）	日本人としてはじめてオルガンを製作した山葉寅楠の人生を考えることで、自主及び自律の精神を養うとともに社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。〈第2号、3号〉	pp.146-149
国やふるさとを愛する 34 かことげんざいがともに生きる町	自分の住む町のよさを再発見した児童を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉	pp.150-153
国やふるさとを愛する 35 希望と勇気をうたにのせて（海鋒義美）	子どもたちのために多くの歌を作った海鋒義美の人生にふれることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉	pp.154-155
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	一年間の道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.156-158 p.159

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-65	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 404	小学道徳4 はばたこう明日へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせ、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲4年 1 つながるやさしさ (pp.6-7)

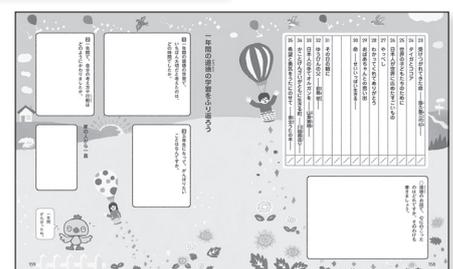
教科書の全体構成

○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習でいちばん大切だと



◀4年 四年生の道徳の学習が始まるよ (pp.2-3)



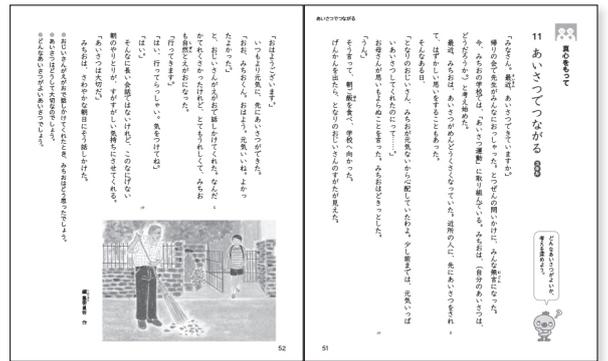
4年 学びの記録▶
一年間の道徳の学習をふり返ろう (pp.158-159)

思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして次の学年に進級したときになりたい自分を想定して、次の学年へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしてあります。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置してあります。

多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。



▲4年 11 あいさつでつながる (pp.51-52)

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。



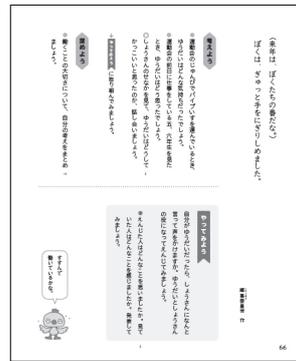
▲4年 ○はじめについて考えよう (p.36)



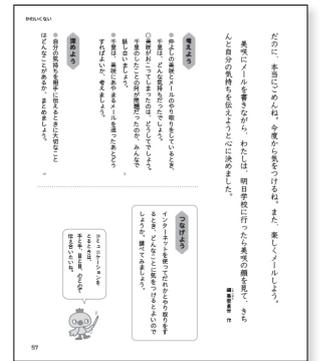
▲4年 17 仲間だから (p.76)

○学びの手引き

授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「考えよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「深めよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につなげる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「考えよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手引きの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。



▲4年 14 かっこいいせなか (p.66)



▲4年 12 かわいくない (p.57)

○補充教材

それぞれの道徳的価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に5本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



▲4年 31 その日の朝に (pp.138-139)

題材の特色 4年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



この他の定番教材

- 2 心と心のあくしゅ (pp.9-13)
- 5 十才のプレゼント (pp.24-27)
- 6 雨のバスでいりゅう所で (pp.28-31)
- 9 目覚まし時計 (pp.42-46)
- 18 絵はがきと切手 (pp.80-83)

◀4年 19 ブラッドレーのせいきゅう書 (pp.84-85)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点に特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

• 生命の尊厳

29 おばあちゃんとの思い出 (pp.131-133) 30 命 (pp.134-137)

• 自然

24 タイガとココア (pp.110-113)

• 伝統と文化

26 日本人が世界に広めたすごいもの (pp.118-120)
34 かことげんざいがともに生きる町 (pp.150-153)

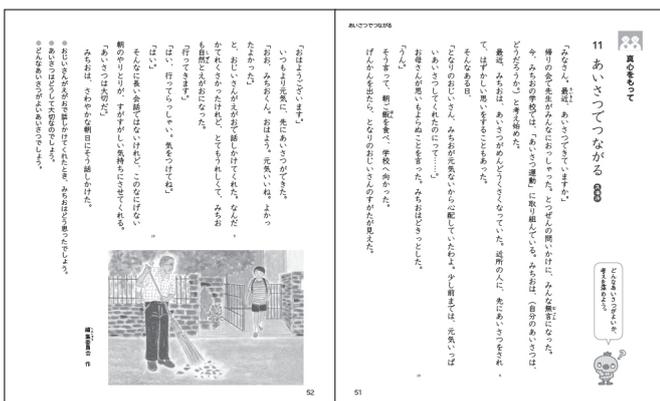
• 先人の伝記・スポーツ

3 ゆめは世界一のプロ野球マスコット (島野修) (pp.14-19)
15 二宮金次郎の働き (二宮金次郎) (pp.67-69)
21 ゆめに向かって泳ぐ (寺川綾) (pp.92-97)
22 一步一步の積み重ね (伊能忠敬) (pp.98-103)
32 ゆうびんの父 (前島密) (pp.142-145)
33 日本人の手でオルガンを (山葉寅楠) (pp.146-149)
35 希望と勇気をうたにのせて (海鋒義美) (pp.154-155)

• 情報化への対応

10 守りたい自分のじょうほう (pp.47-49) 12 かわいくない (pp.54-57)

○体験的な学習のできる教材



他にも体験的な学習ができる教材を多数掲載しました。

- 4 ほっとけないよ (pp.20-23)
- 13 学校のれきし (pp.58-61)
- 14 かつこいいせなか (pp.62-66)
- 16 だまっていればわからない (pp.70-75)
- 17 仲間だから (pp.76-79)
- 19 ブラッドレーのせいきゅう書 (pp.84-87)
- 24 タイガとココア (pp.110-113)
- 28 わかってくれてありがとう (pp.126-129)

▲4年 11 あいさつでつながる (pp.51-52)

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
四年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
相手を思いやって 1 つながるやさしさ 2 心と心のあくしゅ	B [親切, 思いやり] 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	pp.6-8 pp.9-13	2
自分らしさをのびして 3 ゆめは世界一のプロ野球マスコット(島野修)	A [個性の伸長] 自分の特徴に気付く, 長所を伸ばすこと。	pp.14-19	1
正しいことは自信をもって 4 ほっとけないよ	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] 正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	pp.20-23	1
美しいものにふれて 5 十才のプレゼント	D [感動, 畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	pp.24-27	1
社会のきまりを守って 6 雨のバスでいりゅう所で	C [規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守る こと。	pp.28-31	1
楽しい学級や学校をつくる 7 学校のじまんを大切に	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合って 楽しい学級や学校をつくること。	pp.32-35	1
分けへだてなく 〇いじめについて考えよう 8 プロレスごっこ	C [公正, 公平, 社会正義] 誰に対しても分け隔てをせず, 公正, 公平な態度で 接すること。	p.36 pp.37-41	1
自分でできることを考えて 9 目覚まし時計 10 守りたい自分のじょうほう	A [節度, 節制] 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	pp.42-46 pp.47-49	2
真心をもって 〇自分のあいさつについて考えよう 11 あいさつでつながる(スキル) 12 かわいくない	B [礼儀] 礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接 すること。	p.50 pp.51-53 pp.54-57	2
ありがとうの気持ちをもって 13 学校のれきし	B [感謝] 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活 を築いてくれた高齢者に, 尊敬と感謝の気持ちをも って接すること。	pp.58-61	1
みんなのために働こう 14 カッコいいせなか 15 二宮金次郎の働き(二宮金次郎)	C [勤労, 公共の精神] 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働 くこと。	pp.62-66 pp.67-69	2
正直に明るい心で 16 だまっていればわからない(スキル)	A [正直, 誠実] 過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	pp.70-75	1
友達と助け合って 17 仲間だから 18 絵はがきと切手	B [友情, 信頼] 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	pp.76-79 pp.80-83	2

家族で協力し合って 19 ブラッドレーのせいきゅう書 20 お父さんのラーメンがいちばん	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	pp.84-87 pp.88-91	2
こころざしをもって 21 ゆめに向かって泳ぐ (寺川綾) 22 一步一步の積み重ね (伊能忠敬)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	pp.92-97 pp.98-103	2
自然を大切に 23 受けつがれてきた命 24 タイガとココア	D [自然愛護] 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り, 自然や動植物を大切にすること。	pp.104-109 pp.110-113	2
世界の人々や文化に関心をもつ 25 世界の子どもたちのために	C [国際理解, 国際親善] 他国の人々や文化に親しみ, 関心をもつこと。	pp.114-117	1
国やふるさとを愛する 26 日本人が世界に広めたすごいもの 27 やっペシ	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.118-120 pp.121-125	2
相手とわかり合って 28 わかってくれてありがとう	B [相互理解, 寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。	pp.126-129	1
命を大切に ○命の大切さについて考えよう 29 おばあちゃんとの思い出 30 命	D [生命の尊さ] 生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にすること。	p.130 pp.131-133 pp.134-137	2
相手を思いやって 31 その日の朝に	B [親切, 思いやり] 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	pp.138-141	1
こころざしをもって 32 ゆうびんの父 (前島密)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	pp.142-145	1
こころざしをもって 33 日本人の手でオルガンを (山葉寅楠)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	pp.146-149	1
国やふるさとを愛する 34 かことげんざいがともに生きる町	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.150-153	1
国やふるさとを愛する 35 希望と勇気をうたにのせて (海鋒義美)	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.154-155	1
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	全般	pp.156-158 p.159	—
計			35